

中高語り場 11月1日(水)

11月1日に広尾中学校にて、中高語り場が行われました。高校生13名を講師として、高校での学習や進路、部活動などについて語り合いました。中学生は熱心に高校生の話に耳を傾け、今から何をやっていくとよいかなどを質問し、交流していました。

広尾中学校 3年B組 村野 百々

今回、高校生の方々には、高校生活で感じたことや部活、将来などについてたくさんのお話をしてくださいました。私がとくに印象的だったのは、高校生の方が持参し見せてくださった数学の教科書とワークです。そこで、高校生から、いかに中学校の勉強やその復習が大切であり、必要であるかを教えていただきました。この「語り場」を踏まえて、私たちは目標をしっかりと見据えることができたと感じます。本当にありがとうございました。



中高一貫教育だより

広尾の子どもは広尾で育てる

《発行者》広尾町中高一貫教育推進委員会

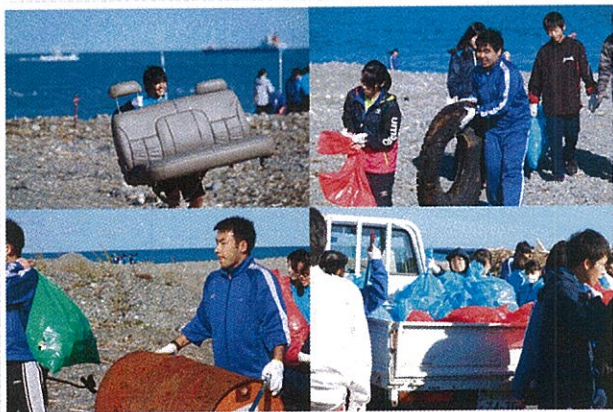
49
No. 49
Jan. 2018



広尾高校 インターンシップ発表会



中高広域合同清掃活動 10月5日(木)



10月5日に中高広域合同清掃活動を行いました。この活動は住んでいる町への愛着を持ち、中学生と高校生と一緒に清掃する活動を通し、交流を深めようというものです。ドラム缶など大きなゴミも拾い、今年の活動は、とても意欲的な清掃になりました。

広尾高校第69期生徒会厚生委員長
加藤 愛大

中学生と高校生の皆さん、中高広域合同清掃活動お疲れ様でした。おかげさまで広尾町をきれいにすることができました。

この広尾町をきれいにするという目的のもと、和気あいあいと中高生同士のコミュニケーションを取りながら、台風などによって無造作に散らばってしまったゴミをきれいに回収することができました。町内環境の美化という点において、地域に貢献できたことを本当に嬉しく思います。

最後に、合同清掃にご協力していただいたすべての皆様にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

働くことの大切さ、面白さ。

8月21日(月) 広尾高校にて、インターンシップ発表会が行われました。広尾高校2年生43名は、6月12日(月)～14日(水)の3日間、広尾町等の事業所28カ所でインターンシップを実施し、その体験をまとめ、内容を発表しました。広尾中学校2年生と広尾小学校6年生が視聴し、質疑応答も活発にされました。

今回は、「第1ブース」 広尾小学校と南十勝環境衛生センター、「第2ブース」 広尾漁業協同組合とセブイレブ、「第3ブース」 陸上自衛隊と日高信用金庫、「第4ブース」 広尾町農業協同組合と広尾衛生社の4つに分かれての発表でした。中学生からは、インターンシップを通して学んだことについて、働くことの大切さ、面白さなどの質問がありました。

今回の発表会を通じて、望ましい職業観とはどのようなことなのかを学び、さらに、広尾中学校2年生はこのあと行われる職業体験学習への意欲を高めました。

広尾中学校 2年B組 喜多 汐那

インターンシップ発表を聞いて、今まで知らなかった仕事内容や、どこの職場がどんなことを大切にして働いているかなどを知ることができました。仕事は、自分ひとりで成り立たないもので、積極的にアクションを起こし、コミュニケーションをとることが大切だと感じた。自分が行く職場体験の場所では、仕事内容、楽しいところ、反対に大変だなと感じたところ、大切にしていることなどをしっかりと学びたいと思った。



■ SCC (Secondary Collaborated Class) の記録

「SCC」は、中高の乗り入れ授業のことです。「S」は「Secondary」で「中等教育」、
「C」は「Collaborated」で、「協力し合う」、もうひとつの「C」は「Class」で「授業」
の意味です。つまり、「中高で協力し合い、授業を作る」という意味です。
今回は、書写・国語科・数学科・社会科の授業を紹介します。



国語科 (書写) 9月20日(水)

広尾中学校の体育館で全校一斉の書写が行われました。広尾高校の小田先生より、「学級の仲間と協力して一つの大きな作品をつくる」というテーマで、文化祭で歌う学級合唱の歌詞を書きました。

授業の前半は、どのような作品にするか、作業の分担はどうするのかと各学級で話し合い、後半では、大きな用紙を囲んで実際に筆入れをしました。最初の一文字を慣れない大きな筆で書く担当となった生徒は、少し緊張した様子で慎重に筆を運んでいました。その様子を学級の仲間が見守り、その後に続く生徒たちも思い思いの文字を書いていました。書く事が苦手な生徒も得意な生徒も、嬉々として取り組んでいました。完成した作品は、中学校の文化祭で体育館に飾りました。

※中学校では国語科の授業で「書写」を行います。高校の「書道」は、芸術科目の教科になり、国語科の授業とは別に専門的な学びを深めます。

数学科 8月25日(金)

広尾高校1年生23名が広尾中学校に行き、中学1年生に数学を教えました。夏休み明けの時期で、それまでの学習内容が身についているか、基礎基本の定着はどうかなどの観点で、中学生が演習を行い、高校生が1対1で採点や解説をしました。一人ひとり、一生懸命に取り組んでいました。



社会科 11月29日(水)

広尾中学校で、広尾高校中野先生が、中学校2年生に「北方領土」についての授業をしました。中野先生は、ビザなし交流で北方領土に行った経験を写真などで振り返り、北方領土に住む人々の暮らしなどについて紹介してくれました。中学生は教科書では感じられない生の声などに触れ、貴重な体験を聞く一時間となりました。



国語科 11月30日(木)

広尾中学校で、広尾高校本村先生が、中学校3年生に作文の工夫について授業をしました。中学校で取り組む「作文」と高校で取り組む「小論文」の違いについて、「理由や根拠を明確にする」という視点で授業を行いました。自分の意見を主張するために必要な5つの要素をもとに、出されたテーマについて、中学生は真剣な表情で演習に取り組んでいました。

